



〈ウィーンの思い出〉 第25回 平日の午後のコンサート

2022年4月28日 (木) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール



©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます
オーケストラの響きが満ちる場所でのかけがえのないひとときを
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

オフィシャル・サプライヤー

SONY

Rakuten 25
YEARS

マルハニ

LOTTE

ゆうちょ銀行

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団は上記の企業から特別なご支援をいただいております。

第25回 平日の
午後のコンサート。



4.28(木) 14:00開演 東京オペラシティ コンサートホール

Thu. Apr. 28, 2022, 14:00 at Tokyo Opera City Concert Hall



〈ウィーンの思い出〉

指揮とお話 尾高忠明 Tadaaki Otaka, conductor & speaker

コンサートマスター 三浦章宏 Akihiro Miura, concertmaster

J. シュトラウスII: 喜歌劇『こうもり』序曲 (約10分)

J. Strauss II: Overture from operetta "Die Fledermaus (The Bat)" (ca. 10 min)

J. シュトラウス: ワルツ『天体の音楽』(約10分)

J. Strauss II: Sphärenklänge-Walzer (Music of the Spheres Waltz) (ca. 10 min)

J. シュトラウスII: ポルカ『クラッpfenの森で』(約4分)

J. Strauss II: Im Krappfenwald'I (In Krappfen's Woods) Polka (ca. 4 min)

J. シュトラウスII: 皇帝円舞曲 (約10分)

J. Strauss II: Kaiser-Walzer (Emperor Waltz) (ca. 10 min)

— 休憩 intermission —

ベートーヴェン: 交響曲第6番 ヘ長調 Op. 68『田園』(約40分)

Beethoven: Symphony No. 6 in F major, Op. 68 "Pastoral" (ca. 40 min)

主催:公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)| 独立行政法人 日本芸術文化振興会

協力:朝日新聞社

Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan | Japan Arts Council

In Association with The Asahi Shimbun Company



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

※演奏中や曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。

※開演間際の入場、再入場・途中入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なるお席への着席をお願いすることがございます。

※演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。

※終演後、ロビーの混雑を避けるため「時差退場」のお願いをしております。ご協力をお願いいたします。

- Entering and exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed.
- If you enter or reenter just before or in the middle of the concert, we may escort you to a seat different from the one you were originally assigned.
- Please refrain from using your cellphone or other electronic devices during performance.
- In order to avoid crowding when exiting the hall, we ask that you exit the hall by staggered times in cooperation with guidance that staff will provide at the venue at the end of the concert.

出演者プロフィール

指揮とお話

尾高忠明

Tadaaki Otaka, conductor

東京フィルハーモニー交響楽団 桂冠指揮者



©上野隆文

1947年生まれ。国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、ロンドン交響楽団、ベルリン放送響等世界各地のオーケストラへ客演。

これまで1991年度サントリー音楽賞受賞。1997年英国エリザベス女王より大英勲章CBEを授与された。2021年に旭日小綬章を受章。このほか1993年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号、ウェールズ大学より名誉博士号、さらに1999年には英国エルガー協会より日本人初のエルガー・メダルを授与されている。2012年有馬賞（NHK交響楽団）、14年北海道文化賞、18年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞、日本放送協会放送文化賞、19年第49回JXTG音楽賞洋楽部門本賞を受賞。

現在NHK交響楽団正指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督、BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団桂冠指揮者、札幌交響楽団名誉音楽監督、東京フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団名誉客演指揮者、紀尾井ホール室内管弦楽団桂冠名誉指揮者、2021年から「東京国際音楽コンクール<指揮>」審査委員長。また東京藝術大学名誉教授、相愛大学、京都市立芸術大学客員教授、国立音楽大学招聘教授を務めている。

プログラム・ノート

解説＝柴田克彦

マエストロ尾高による薫り高いウィーン音楽を堪能

今回の「平日の午後のコンサート」のテーマは〈ウィーンの思い出〉。桂冠指揮者・尾高忠明が、この音楽の都にちなんだ作品を披露します。

前半は、ヨハン・シュトラウスⅡ世とヨーゼフ・シュトラウス兄弟の作品。二人は、ウィーンに生まれ、当地で一世を風靡した、ウィーン音楽の代名詞的な存在です。彼らが花開いたのはブラームス等と同時期ですが、シュトラウス一家は大衆音楽の代表格。今なおニューイヤー・コンサートで中心を成しています。後半は、ドイツのボンで生まれながらもウィーンで活躍した古典派の巨匠ベートーヴェンの『田園』交響曲。この曲は、ウィーン郊外のハイリゲンシュタットの風物を反映した作品ゆえに、古の当地の雰囲気を呼び起こしてくれます。

ウィーン国立音楽大学で名教師スワロフスキーに学んだ尾高マエストロにとっても、ウィーンはまさに思い出の地。円熟の名匠が紡ぐ、優雅で風雅でどこか懐かしい音楽を、存分に満喫しましょう。



マエストロがお客様からの質問に直接答えるコーナーもぜひお楽しみください

©上野隆文

“ワルツ王”が手掛けたオペレッタから愉しさ満点の序曲

幕開けは、ヨハン・シュトラウスII世 (1825－1899) の喜歌劇『こうもり』序曲です。『ラデツキー行進曲』で知られる“ワルツの父”J.シュトラウス1世の長男J.シュトラウスII世は、20歳前から自らの楽団を率いて活躍。500曲近い作品を残し、ヨーロッパ各地やアメリカにも進出して“ワルツ王”と称されました。



そんな彼は、おなじみのワルツ『美しく青きドナウ』(1867年) 等を作曲後の1870年頃から創作の主力をオペレッタ(喜歌劇)に移しました。そして1874年に初演されたこの第3作『こうもり』で大成功を収め、本作は当ジャンルの看板曲となりました。全3幕の物語は、舞踏会の帰りに友人からこうもりの扮装のまま置き去りにされて、そのあだ名が付いたファルケ博士の愉快な復讐劇。夜会や恋愛が絡みながら進み、最後は「すべてはシャンパンのせい」となります。

序曲は、劇中の旋律が次々に登場するポプリ(接続曲)風の構成。これは当時のオペレッタ序曲の定型でもありました。曲は元気よく開始。オーボエの柔らかな旋律、第2幕の6時の鐘の音、各幕の三重唱や第2幕のワルツなど様々な旋律が登場し、華やかに終結します。弾んだ気分の中にメランコリックな情緒が混じった愉しさ満点の名曲です。

古代ギリシャのピタゴラスの思想を主題にしたワルツ

おつぎはヨーゼフ・シュトラウス (1827－1870) のワルツ『天体の音楽』。J.シュトラウスII世の2歳年下の弟ヨーゼフは、もともと紡績工場の技師でしたが、病気の兄の代役でシュトラウス楽団に登場後は同じ道を歩み、43歳で早世しながらも約300曲の作品を残しました。



この曲は、1868年の医学生舞踏会のために書かれた作品。当時は、古代

ギリシャの哲学者ピタゴラスの「天球は完璧なリズムとハーモニーで巡っている」といった“天体の音楽”の思想がブームになっていました。そこで舞踏会の実行委員会はこれをテーマに決め、音楽担当のヨーゼフがそのイメージに沿ったワルツを作曲しました。曲は、序奏→5つのワルツ（各々2部分から成っています）→終結部というウィнна・ワルツの基本的な流れで進行。ヨーゼフ一流の気品漂う音楽が悠々と展開され、後半は盛り上がりを見せます。

鳥のさえずりも聞こえる、のどかな森の情景描写

ここからは再びJ.シュトラウスII世の作品。今度はポルカ『クラップフェンの森で』です。J.シュトラウスII世は、ひと頃ロシアのサンクトペテルブルク郊外の避暑地パヴロフスクで定期的にコンサートを行っていました。この曲は、1869年に当地で「パヴロフスクの森で」と題して初演された作品。翌年ウィーンで演奏される際に、地元郊外の地名に変更されました。曲は、カッコウなどの鳥の声を取り入れた、のどかなポルカ・フランセーズ（フランス風ポルカ）です。

前半最後は『皇帝円舞曲』。本作は、J.シュトラウスII世がオペレッタに主軸を移した後の1889年、オーストリアとドイツの同盟締結を機に作曲され、ベルリンにて彼自身が指揮する約100人のオーケストラによって初演されました。当初は「手に手をとって」という友好的な題名でしたが、出版の際に改名。楽譜にはオーストリアのハプスブルグ家の紋章を印刷して愛国心を示すという、したたかな経緯をもった作品でもあります。

曲は、定型のワルツを全体に大型化した構成。遅い行進曲風の序奏から主部に入ると、4つのワルツが続き、終結部にもワルツの一部が再登場します。町の舞踏会用ではなく、大規模なオーケストラ用に書かれた本作は、「円舞曲」という古い呼び名が似合う堂々たる音楽です。

ベートーヴェンが愛するウィーン郊外の自然を反映した交響曲

後半は、**ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン** (1770–1827) の**交響曲第6番『田園』**。1808年、対照的な曲調の第5番『運命』と相前後して作曲され、同年末ウィーンで同時に初演された中期の傑作です。前記のように、ウィーン郊外のハイリゲンシュタットで主に作曲されており、のどかな曲調には当地の風物が反映しているといわれています。ちなみにそこは現在住宅地ですが、当時はかなりの田舎。自然を愛するベートーヴェンお気に入りの地でもありました。



本作は、当初「田園生活の思い出」、その後「田園交響曲」と名付けられました。これは『運命』とは違って、ベートーヴェン本人の命名。彼自身は「描写というよりもむしろ感情の表現である」と語っているものの、第2楽章後半の木管楽器による鳥たちの鳴き声や、第4楽章の雷鳴と嵐など、一部で明確な描写もなされています。

またこの曲は、毎回新機軸を打ち出したベートーヴェンの9曲の交響曲の中でも、新たな試みが際立った作品です。まず全5楽章という構成と、第3～5楽章が続けて演奏される点が当時としては斬新。トロンボーンが第4楽章から、ティンパニとピッコロが第4楽章のみ参加するなど、サウンドのピークが終楽章の前に置かれている点もユニークです。そして何より、内容を示す言葉が各楽章に記され、それに即した音楽が展開される「標題交響曲」(の元祖的存在) である点が最大の特徴。こうした要素はロマン派の交響曲や交響詩に大きな影響を与えました。

第1楽章：アレグロ・マ・ノン・トロppo「田舎に着いたときの愉快的感情の目ざめ」。自然の中にいる人間の心持ちを表した牧歌的な音楽。冒頭ののどかな主題を中心に運ばれます。

第2楽章：アンダンテ・モルト・モート「小川のほとりの情景」。自然の安らぎが表現された穏やかな音楽。息の長い旋律が歌われ、終盤には、フルートが

“夜うぐいす”、オーボエが“うずら”、クラリネットが“かっこう”の鳴き声を模倣します。

第3楽章：アレグロ「田舎の人々の楽しい集い」。ここは自然界における人間の情景。2種類の田舎舞曲が対比されます。これ以降の楽章は続けて演奏。

第4楽章：アレグロ「雷雨、嵐」。遠雷に続いて雷雨が到来し嵐が吹き荒れる、迫真の描写。

第5楽章：アレグレット「牧人の歌、嵐の後の喜ばしい感謝の気持ち」。嵐から救われたことを神に感謝する、幸福感に充ちたフィナーレ。なだらかに進行し、喜ばしい気分で終結します。

しばた・かつひこ（音楽ライター）／音楽マネジメント勤務を経て、フリーランスの音楽ライター、評論家、編集者となる。雑誌、公演プログラム、Web、宣伝媒体、CDブックレット等への寄稿、プログラム等の編集業務のほか、一般向けの講演や講座も行うなど、幅広く活動中。著書に「山本直純と小澤征爾」（朝日新書）、「吹奏楽編曲されているクラシック名曲集」（音楽之友社）。

2022シーズンオープニング!

次の午後のコンサート

お客様の質問募集中!



第26回 平日の午後のコンサート
6月23日(木) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

〈マエストロの旅〉

指揮とお話: チョン・ミン
(アソシエイト・コンダクター)

ベルリオーズ／ローマの謝肉祭
ウェーバー／歌劇『魔弾の射手』序曲
ロッシーニ／歌劇『ウィリアム・テル』序曲
ストラヴィンスキー／
バレエ組曲『火の鳥』(1945年版)



©Silvia Lell

チョン・ミン ドイツのザールブリュッケン生まれ。幼少時にフランスに渡りコントラバス、ピアノ、ヴァイオリンを学ぶ。その後ソウルに移りソウル国立大学校でヴァイオリンとドイツ文学を専攻。2020年、イタリアのボルツァーノ・トレント・ハイドン管弦楽団の首席客演指揮者に就任。多くの重要な公演を成功に導いており、現在、非常に卓越した若手指揮者の一人に挙げられている。「午後のコンサート」には2回目の登場。



第92回 休日の午後のコンサート
5月15日(日) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール



第13回 渋谷の午後のコンサート
5月16日(月) 14:00開演
Bunkamura オーチャードホール

〈北欧より〉

指揮とお話: 栗田博文
グリーグ／劇付随音楽『パール・ギェント』より
シベリウス／組曲『四つの伝説曲』より
第4曲「レンミンカイネンの帰郷」
バーンスタイン／『キャンディード』序曲
バーンスタイン／『ウエスト・サイド物語』より
「シンフォニック・ダンス」



シーズン
開幕!

栗田博文 1988年東京国際音楽コンクール指揮部門第1位、1995年第1回シベリウス国際指揮者コンクール最高位、同年フィンランド放送交響楽団より招かれヨーロッパデビュー。古典から現代作品まで幅広いレパートリーをもち、ジャンルを超えたコラボレーションにも積極的。東京フィル「午後のコンサート」に初登場!

午後のコンサート 2022シーズン、休日／渋谷シリーズは4回セット券発売中!

料金表	S席	A席	B席	C席
4回セット券(定価)	¥20,520	¥16,560	¥11,160	¥8,400
(東京フィルフレンズ)	¥18,468	¥14,904	¥10,044	¥7,560
1回券(定価)	¥5,700	¥4,600	¥3,100	¥2,100
(東京フィルフレンズ)	¥5,130	¥4,140	¥2,790	¥1,890

※1回券はセット券の販売終了後、残席がある場合にのみ販売いたします。
※東京フィルフレンズ(年会費無料・随時入会受付中)入会で、定価の10%割引で購入いただけます。

お申込み・お問合せは
東京フィル
チケットサービスまで

03-5353-9522 (平日10時～18時/土日祝休・チケット発売日の土曜日は10時～16時の営業)
<https://www.tpo.or.jp/> (24時間受付・座席選択可)

2022シーズン

午後のコンサート

休日／渋谷シリーズ
4回セット券発売中!

2022シーズンの「午後のコンサート」、開幕いたしました。ゆったりとした午後のひとときを、オーケストラの名曲と幅広い世代の音楽家のお話で楽しむ「午後のコンサート」。ひきつづきお楽しみください。



chie 16.
イラスト：ハラダチエ

“大人の渋谷”、Bunkamuraで楽しむ 渋谷の午後のコンサート

Bunkamura オーチャードホール
開演14:00 (開場13:15)

5月16日(月) 第13回

指揮とお話：
栗田博文



北欧より

1回券発売中

グリーグ／『ペール・ギュント』より
シベリウス／組曲『四つの伝説曲』より
第4曲「レンミンカイネンの帰郷」
バーンスタイン／『キャンディード』序曲
『ウエスト・サイド物語』よりシンフォニック・ダンス

7月27日(水) 第14回

指揮とお話：三ツ橋敬子
バンドネオン：小松亮太



夏を踊る

1回券6月発売

ガーデ／ジェラシー*
ピアノ／アディオス・ノニーノ*、リベルタンゴ*
ビゼー／歌劇『カルメン』第1組曲
ファリャ／バレエ音楽『三角帽子』
第2組曲より「粉屋の踊り」～終曲

ほか

9月2日(金) 第15回

指揮とお話：小林研一郎
ヴァイオリン：荒井里桜



コパケンの名曲アラカルト

1回券6月発売

グリンカ／歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲
メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲*
ドヴォルザーク／スラブ舞曲第10番
スメタナ／連作交響詩『わが祖国』より
「シャルカ」「モルダウ」

11月24日(木) 第16回

指揮とお話：大井剛史
ソプラノ：森麻季



クリスタル・クラシック

1回券6月発売

ドヴォルザーク／序曲『謝肉祭』
わが母の教えたまいし歌*
山田耕作／赤とんぼ* この道*
ブッチーニ／歌劇『ラ・ボエーム』より
「私が街を歩けば」*
ドヴォルザーク／交響曲第8番

ほか

ゆったりと、平日午後に“音楽のご褒美”
平日の午後のコンサート

東京オペラシティ コンサートホール
開演 14:00 (開場 13:15)

6月23日(木) 第26回

指揮とお話：
チョン・ミン

(アソシエイト・コンダクター)



マエストロの旅

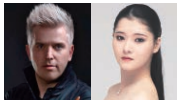
1回券発売中

ベルリオーズ／ローマの謝肉祭
ウェーバー／歌劇『魔弾の射手』序曲
ロッシーニ／歌劇『ウィリアム・テル』序曲
ストラヴィンスキー／バレエ組曲『火の鳥』

8月5日(金) 第27回

指揮とお話：
ダン・エッティンガー

ヴァイオリン：服部百音



10月31日(月) 第28回

指揮とお話：円光寺雅彦

ピアノ：清塚信也



千夜一夜物語

1回券6月発売

ワーグナー／楽劇『ニュルンベルクのマイスタ
ジンガー』より第1幕への前奏曲
ワックスマン／カルメン・ファンタジー*
リムスキー＝コルサコフ／交響組曲『シェエラザード』

オーケストラ・クライマックス
～ピアノ協奏曲編～

1回券8月発売

チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第1番より第1楽章*
ショパン／ピアノ協奏曲第1番より第2楽章*
ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番より第3楽章*
ムソルグスキー(ラヴェル編)／組曲『展覧会の絵』(ほか)

愛され続けて23年目。午後コンの“元祖”
休日の午後のコンサート

東京オペラシティ コンサートホール
開演 14:00 (開場 13:15)

5月15日(日) 第92回

指揮とお話：
栗田博文



北欧より

1回券発売中

グリーグ／『ペール・ギュント』より
シベリウス／組曲『四つの伝説曲』より
第4曲『レンミンカイネの帰郷』
バーンスタイン／『キャンディード』序曲
『ウエスト・サイド物語』よりシンフォニック・ダンス

7月24日(日) 第93回

指揮とお話：三ツ橋敬子

バンドネオン：小松亮太



夏を踊る

1回券6月発売

ガーデ／ジェラシー*
ピアソラ／アディオス・ノニーノ*、リベルタンゴ*
ビゼー／歌劇『カルメン』第1組曲
ファリャ／バレエ音楽『三角帽子』
第2組曲より『粉屋の踊り』～終曲 (ほか)

9月4日(日) 第94回

指揮とお話：小林研一郎
ヴァイオリン：荒井里桜



コパケンの名曲アラカルト

1回券6月発売

グリムカ／歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲
メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲*
ドヴォルザーク／スラブ舞曲第10番
スメタナ／連作交響詩『わが祖国』より
「シャルカ」「モルダウ」

11月27日(日) 第95回

指揮とお話：大井剛史

ソプラノ：森麻季



クリスタル・クラシック

1回券8月発売

ドヴォルザーク／序曲『謝肉祭』
わが母の教えたまいし歌*
山田耕作／赤とんぼ* この道*
プッチーニ／歌劇『ラ・ボエーム』より「私が街を歩けば」*
ドヴォルザーク／交響曲第8番 (ほか)

photo: 尾高忠明・小林研一郎©上野隆文・栗田博文©友澤綾乃／チョンミン©Silvia Lelli／三ツ橋敬子©Earl Ross／小松亮太©Yusuke Takamura／ダン・エッティンガー©Juergen Altmann／
服部百音©Yui Inagaki／荒井里桜©Toyohiro Matsushima／円光寺雅彦・大井剛史©K. Miura／清塚信也©Kunito Watanabe／森麻季©Yui Hori

お申込み・お問合せは
東京フィル
チケットサービスまで

03-5353-9522

(平日 10時～18時・土日祝休／チケット発売日の土曜日は10時～16時の営業)
<https://www.tpo.or.jp/> (24時間受付・座席選択可)

News & Information

【提携都市公演】長岡特別演奏会

マエストロ バッティストーニが長岡に帰ってきます！マエストロが以前から取り組んでいる編曲作品から、作曲家リストの壮大なピアノ作品『巡礼の年』を自らの手でオーケストラ作品にアレンジした「ダンテを読んで」、そしてオーケストラ音楽の傑作のひとつマーラー「交響曲第5番」。東京フィル初登場から10年、さらなる進化を聴かせます。

日時 9月18日(日)14:00開演

会場 長岡市立劇場 大ホール

出演 指揮: アンドレア・バッティストーニ(東京フィル首席指揮者)

曲目 リスト(バッティストーニ編)／『巡礼の年』第2年「イタリア」より ダンテを読んで
マーラー／交響曲第5番

料金 S席¥6,000 A席¥4,000(全席指定)

発売日 6月10日(金)9:00～

問合せ (公財)長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7715



©上野隆文



昨年の様子

【掲載情報】

小学館『小学一年生』5・6月合併号に東京フィルメンバーが登場



「ピッカピカの一年生」で有名な小学館の学習雑誌『小学一年生』5・6月合併号「オーケストラのひみつたんけん」に東京フィルメンバーが登場しています。只今好評発売中。この春の新一年生も、そして大きなお友達も、ぜひお近くの書店やウェブサイト等でご購入ください。

価格 1690円(税込) 出版社 小学館

『小学一年生』ウェブサイト <https://sho.jp/sho1/>

<撮影/松原敬子 モデル/神尾百音 提供/小学館「小学一年生」>



Photo Reports 2022年3月の演奏会より

3月の定期演奏会は、特別客演指揮者ミハイル・ブレトニョフが2年5か月ぶりに来日を果たし、スメタナの『わが祖国』全曲をお届けしました。2020年3月の定期演奏会で予定されていた本公演、コロナ禍で3度の延期を経て、念願の実現となりました。

写真＝上野隆文 (3/10)／寺司正彦 (3/13)

3月定期演奏会 (3/10、11、13)

指揮：ミハイル・ブレトニョフ
(東京フィル 特別客演指揮者)
コンサートマスター：依田真宣

スメタナ／連作交響詩『わが祖国』(全曲)

- 第1曲 ヴィシェフラド(高い城)
- 第2曲 モルダウ
- 第3曲 シャールカ
- 第4曲 ボヘミアの森と草原より
- 第5曲 ターボル
- 第6曲 ブラニーク

【オーケストラ・アンコール】

J.S.バッハ(L.ストコフスキー編)／
管弦楽組曲第3番より「エアー」(G線上のアリア)



2019年10月定期演奏会ぶりの共演が叶い、魔法のようなタクトを披露しました



3度目の延期が決まった2021年春、マエストロは「再び日本を訪れ、この作品を東京フィルの皆さんと演奏できる日が早く来る事を心から願っております」とメッセージを寄せました。リハーサルでは笑みがこぼれる場面も



マエストロを挟んで第1ヴァイオリンと第2ヴァイオリンが向かい合う対向配置で演奏。コントラバスは舞台向かって左手、打楽器セクションは右手に、ホルンは倍管で8人が最後列に一列で並びました



『わが祖国』の全曲演奏に取り組むのは今回が初めてというマエストロ。全曲を「ひとつの絵巻物として演奏したい」と語り、曲間はアタッカ（切れ目なく演奏すること）で繋ぎました



アンコールはマエストロの選曲で、リストコフスキー編曲による「G線上のアリア」を演奏。東京オペラシティ公演は、東日本大震災より11年目を迎えた日でもありました



最終日オーチャード定期演奏会でのカーテンコールにて。マエストロとの待望の『わが祖国』全曲演奏は、冬の寒さも残るなか、3公演とも多くのお客様にお越しいただきました。ご来場誠にありがとうございました。次回の登場は6月定期演奏会です。どうぞお楽しみに。

2022シーズン 今後の定期演奏会

東京フィルの2022シーズンが1月に開幕し、3月には創立111周年を迎えました。引き続き皆様にかげがえのないひと時をお届けいたします。現在、各公演とも1回券好評発売中です。(残席状況はお問合せ下さい)

皆様のご来場をお待ちしております。

5月

指揮：チョン・ミョンフン
(東京フィル名誉音楽監督)

第968回 5月18日(水)19:00
サントリーホール
第146回 5月20日(金)19:00
東京オペラシティ コンサートホール
第969回 5月22日(日)15:00
Bunkamuraオーチャードホール

フォーレ／組曲『ペレアスとメリザンド』
ラヴェル／『ダフニスとクロエ』第2組曲
ドビュッシー／交響詩『海』
(管弦楽のための3つの交響的素描)
ラヴェル／
管弦楽のための舞踏詩『ラ・ヴァルス』



◀5月定期の聴きどころはこちらから!

1回券発売中

6月

指揮：ミハイル・プレトニョフ
(東京フィル特別客演指揮者)

第970回 6月8日(水)19:00
サントリーホール
第147回 6月9日(木)19:00
東京オペラシティ コンサートホール
第971回 6月12日(日)15:00
Bunkamuraオーチャードホール

シCHEDリン／カルメン組曲
〈シCHEDリン生誕90年〉
チャイコフスキー／『白鳥の湖』より
(プレトニョフによる特別編集)

1回券発売中

チケット料金(税込)

1回券	SS席	S席	A席	B席	C席
定価	¥15,000	¥10,000	¥8,500	¥7,000	¥5,500
東京フィルフレンズ (※定価の10%OFF)	-	¥9,000	¥7,650	¥6,300	¥4,950

7
月

指揮：出口大地

(2021年ハチャトゥリアン国際コンクール第1位、
クーセヴィツキー国際指揮者コンクール最高位入賞)
ヴァイオリン：木嶋真優*第148回 7月7日(木) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール
第972回 7月10日(日) 15:00
Bunkamuraオーチャードホール
第973回 7月12日(火) 19:00
サントリーホール

ハチャトゥリアン／

バレエ音楽『ガイヌ』より
ハチャトゥリアン／ヴァイオリン協奏曲*
ハチャトゥリアン／交響曲第2番『鐘』

1回券発売中

9
月指揮：アンドレア・バッティストーニ
(東京フィル首席指揮者)第149回 9月15日(木) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール
第974回 9月16日(金) 19:00
サントリーホール
第975回 9月19日(月・祝) 15:00
Bunkamuraオーチャードホール

リスト(バッティストーニ編)／

『巡礼の年』第2年「イタリア」より第7曲
ダンテを読んで—ソナタ風幻想曲
マーラー／交響曲第5番

1回券発売中

10
月指揮：チョン・ミョンフン
(東京フィル名誉音楽監督)ファルスタッフ：セバスティアン・カターナ
フォード：須藤慎吾 フェントン：小堀勇介
カイウス：清水徹太郎 バルドルフォ：大槻孝志
ピストーラ：加藤宏隆 アリーチェ：砂川涼子
クイックリー：中島郁子 ナンネッタ：三宅理恵
メグ：向野由美子 新国立劇場合唱団第976回 10月20日(木) 19:00
サントリーホール
第150回 10月21日(金) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール
第977回 10月23日(日) 15:00
Bunkamuraオーチャードホール

オペラ演奏会形式

ヴェルディ／歌劇『ファルスタッフ』

全3幕 字幕付原語(イタリア語)上演
原作：ウィリアム・シェイクスピア
『ウィンザーの陽気な女房たち』
台本：アッリーゴ・ボーイト

1回券発売中

問合せ 東京フィルチケットサービス

発表日などの詳細は

Tel 03-5353-9522 (平日10時～18時・土日祝休／
発売日の土日祝は10時～16時)
URL www.tpo.or.jp/ (24時間受付・座席選択可)

オーケストラ二都物語： ロンドンと東京 ～ふたつのフィルハーモニー

防衛大学校 国際関係学科教授
等松春夫



東京フィルのゆかりの方々に、クラシック音楽に魅了されたきっかけや音楽生活について綴っていただく本連載。第9回は、国際関係学を専門にされ、英国音楽についてもさまざまな執筆活動をされている等松春夫氏。少年時代からオペラ、交響楽の双方で東京フィルの演奏に親しんできてくださったそうです。

縁あって1990年代、20代後半から30代前半にかけて7年間英国で学んだ。その間、安価な学生券を買える特権を駆使して600以上の演奏会、オペラ、バレエ、演劇に足を運んだ。中でもテムズ河畔のロイヤル・フェスティヴァル・ホール(RFH)でしばしば聴いたのがロンドン・フィルハーモニック管弦楽団(LPO)である。1932年に英国楽壇の重鎮サー・トマス・ビーチャムによって設立され、たちまち英京の音楽的な顔となった。1936年には早くもドイツ公演まで行っている。第二次世界大戦後の苦難の時代を巨匠サー・エイドリアン・ボルトと共に乗りきり、その後ハイティンク、ショルティ、テンシュテット、ヴェルザー＝メストらの名指揮者たちに鍛えられた。LPOがロンドンの他の同僚楽団たちと異なるのはオペラにも強い点である。6月から8月はサセックス州の鄙びた町ルイスに移動し、この地で開かれるグラインドボーン・オペラ祭のピットに入る。

このオペラ祭は1934年、富豪ジョン・クリスティによって始められた。本業はパブリック・スクールの教師という物堅い人物であるが、熱烈なオペラ・ファンであった。カナダ出身のソプラノ歌手オードリー・ミルドメイと結婚してオペラ熱に拍車がかかり、



26年後に実現したグライ
ンドボーン・オペラ祭訪問
(2019年7月) クリステ
ィ邸とオペラハウスの前で



東京フィル ロンドン公演 (1994年
10月)のCDジャケット

ついには広大な自邸の庭に歌劇場を建ててしまった。所詮金持ちの道楽で
すぐにつぶれるであろうとの大方の予想に反し、紆余曲折を経て現在は英
国の音楽生活に不可欠のアセットになっている。1963年以来この歌劇場の
音楽面を担ってきたのがLPOである。

1993年の夏は建て替えのためオペラ祭が開けず、その代わりRFHで3演
目9回の演奏会形式上演を行った。『フィデリオ』『ペアトリスとベネディクト』
『メリー・ウィドー』である。英国の貴顕と紳士淑女が集うグラインドボーン・オ
ペラ祭は東洋から来た若輩者の一書生には敷居が高かったが、なじみある
RFHには自然に足が向いた。3公演とも堪能したことはいうまでもない。

考えてみれば同様の形式でオペラを広範囲の聴衆に提供していたのが
東京フィルの「オペラ・コンチェルタンテ」であった。あのシリーズでオペラの愉
しみを知った人は相当な数にのぼったであろう。東京文化会館や新国立劇
場のピットに入ることの多い東京フィルだからこそできた企画であった。1979
年夏、少年時代の筆者が初めて舞台を観てオペラの素晴らしさに目覚めた
のは、若杉弘氏が指揮する東京フィルが東京文化会館のピットに入った二期
会『ローエングリン』の公演であった。英国留学時代の1994年秋にはロンドン
公演で大野和士氏率いる東京フィルの雄姿に接することができた。オペラと
管弦楽、双方に通じた東京フィルは日本では稀有な存在なのである。

等松春夫(とうまつ・はるお)

1962年米国バサデナ市生。防衛大学校国際関係学科教授。専攻は政治外交史・比較戦争史。オク
スフォード大学博士(政治学・国際関係論)。主な著訳書に『日本帝国と委任統治』『なぜ国々は
戦争をするのか』A Gathering Darkness: The Coming of the War to Asia and the Pacific など。1991~97年の留学中に英国音楽の魅力に目覚める。エルガー《エニグマ変奏曲》、《南国に
て》、ホルスト《惑星》等のスコア解説を執筆。英国エルガー協会とホルスト協会の会員。

春風が頬に心地よい季節となりました。

皆様におかれましてはお健やかに過ごしのことと存じます。

今月は、マエストロの名曲にまつわるお話、楽団の奏でる音色と共に、

優雅な午後のひとときをお過ごしいただけますと幸いです。

引き続き、当楽団を何卒よろしくお願い申し上げます。



東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史

賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、皆様のご寄附により支えていただいております。
ここに法人ならびに個人賛助会員（パートナー会員）の皆様のご芳名を掲げ、
改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー（敬称略）

ソニーグループ株式会社	代表執行役 会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎
楽天グループ株式会社	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
株式会社マルハン	代表取締役 会長	韓 昌祐
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	牛腸 栄一
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	池田 憲人

法人会員

賛助会員（五十音順・敬称略）

(株)IIIH 代表取締役社長 井手 博	(株)インターテキスト 代表取締役 海野 裕	(公財)オリックス宮内財団 代表理事 宮内 義彦
(株)アイエムエス 取締役会長 前野 武史	ANAホールディングス(株) 代表取締役社長 芝田 浩二	カシオ計算機(株) 代表取締役 社長 CEO 樫尾 和宏
(医)相澤内科医院 理事長 相澤 研一	(株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長 松本 浩司	キヤノン(株) 代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗 富士夫
アイ・システム(株) 代表取締役会長 兼 社長 松崎 務	大塚化学(株) 特別相談役 大塚 雄二郎	(株)グリーンハウス 代表取締役社長 田沼 千秋
(株)アシックス 取締役会長 尾山 基	(株)オーディオテクニカ 代表取締役社長 松下 和雄	コスモエネルギーホールディングス(株) 代表取締役社長 社長執行役員 桐山 浩

サントリーホールディングス(株)
代表取締役社長 新浪 剛史

信金中央金庫
理事長 柴田 弘之

新菱冷熱工業(株)
代表取締役社長 加賀美 猛

(株)J.Y.PLANNING
代表取締役 遅澤 准

(株)滋慶
代表取締役社長 田仲 豊徳

(株)ジーヴァエナジー
代表取締役社長 金田 直己

菅波楽器(株)
代表取締役社長 菅波 康郎

相互物産(株)
代表取締役会長 小澤 勉

ソニーグループ(株)
代表執行役 会長 兼 社長 CEO 吉田 憲一郎

ソニー生命保険(株)
代表取締役社長 萩本 友男

(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長CEO 村松 俊亮

(株)大丸松坂屋百貨店
代表取締役社長 澤田 太郎

都築学園グループ
総長 都築 仁子

東急(株)
取締役社長 高橋 和夫

東京オペラシティビル(株)
代表取締役社長 三和 千之

東レ(株)
代表取締役社長 日覺 昭廣

トップバン・フォームズ(株)
代表取締役社長 添田 秀樹

トヨタ自動車(株)
代表取締役社長 豊田 章男

DOWAホールディングス(株)
代表取締役社長 関口 明

(株)ニチケアパレス
代表取締役社長 秋山 幸男

(株)ニフコ
代表取締役会長 山本 利行

日本ライフライン(株)
代表取締役社長 鈴木 啓介

(株)パラダイスインターナショナル
代表取締役 新井 秀之

富士電機(株)
代表取締役会長 CEO 北澤 通宏

(株)不二家
代表取締役社長 河村 宣行

(株)三井住友銀行
頭取CEO 高島 誠

三菱地所(株)
執行役社長 吉田 淳一

三菱倉庫(株)
相談役 宮崎 毅

(株)三菱UFJ銀行
特別顧問 小山田 隆

ミライラボバイオサイエンス(株)
代表取締役 田中 めぐみ

(株)明治
代表取締役社長 松田 克也

森ビル(株)
代表取締役社長 辻 慎吾

ヤマトホールディングス(株)
代表取締役社長 長尾 裕

(株)山野楽器
代表取締役社長 山野 政彦

ユニオンツール(株)
代表取締役会長 片山 貴雄

(医)ユベンシア
理事長 今西 宏明

楽天グループ(株)
代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史

(株)リソー教育
取締役会長 岩佐 実次

後援会員

(株)アグレックス
代表取締役社長 畝森 達朗

(医)エレル たにぐちファミリークリニック
理事長 谷口 聡

欧文印刷(株)
代表取締役社長 和田 美佐雄

(有)オルテンシア
代表取締役 雨宮 睦美

(医)カリタス菊山医院
理事長 加藤 徹

(医)だて内科クリニック
理事長 伊達 太郎

(宗)東京大仏・乗蓮寺
代表役員 若林 隆壽

(一社)凸版印刷三幸会
代表理事 金子 真吾

(株)トレミール
代表取締役 茶谷 幸司

(株)日税ビジネスサービス
代表取締役会長兼社長 吉田 雅俊

富士通(株)
代表取締役社長 時田 隆仁

本田技研工業(株)
取締役 代表執行役社長 三部 敏宏

三菱電機(株)
執行役社長 漆間 啓

ご支援の御礼とお願い

コロナ禍において、皆様からたくさんの励ましのお言葉とともに、東京フィルに温かいご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は今も社会に大きな影響を及ぼしています。東京フィルもまた、深刻な打撃を受けています。2020年2月下旬から数か月にわたり、出演する演奏会のすべてが中止・延期となりました。その後も感染状況により公演の中止や延期、チケットの販売停止を余儀なくされております。東京フィルの財源は演奏料収入がほとんどを占めるため、演奏会およびチケット収入の壊滅は団体存続の危機に直結いたします。指揮者と楽団員、スタッフはPCR検査や抗原検査を何度も受けて公演に臨んでおり、これらの検査に掛かる費用もまた楽団の財政を圧迫しています。

今後も、当団は、芸術がもたらす感動がどんな時代にも社会を豊かにするとの信念のもと、お客様ならびに関係者の安全と安心を最優先に、状況を注視しながら活動を続けてまいります。皆様のご寄附が大きな力となります。皆様におかれましては、改めて楽団を取り巻く状況についてご理解を賜りますとともに、いっそうのご支援・ご助力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただきましたら幸いです。個人として1万円以上、法人として30万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会（26ページ）も併せてご覧ください。

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行（郵便振替）	00120-2-30370	公益財団法人
三井住友銀行・ 東京公務部（096）	普通預金 3003239	東京フィルハーモニー 交響楽団

※ ご寄附の金額は自由に設定いただけます。

※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※ 領収証書が必要な方は、お手数ですがお振込後に、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、下記へご送付ください。

寄附申込書はこちらからも取得いただけます。

https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf



【ご支援のお問合せ／寄附申込書 送付先】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階
Fax 03-5353-9523 Eメール: partner@tpo.or.jp
Tel 03-5353-9521（土日祝日を除く10時～18時）

皆様のご寄附は東京フィルの様々な活動を支えています。

フランチャイズ・ホール、事業提携都市との連携

東京フィルは、フランチャイズ・ホールであるBunkamuraオーチャードホール等での定期演奏会の他、東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市の各地域と事業提携を結び、定期演奏会、親子のためのコンサートや中高生などへの楽器ワークショップ等、地域の皆様との交流を通じ音楽の魅力をお届けしています。

文化庁「文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演事業」/ 「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」

文化庁が主催する本事業は、日本全国の小中学校や特別支援学校を訪問し、一流の文化芸術団体による巡回公演を行っています。東京フィルは国内オーケストラでは唯一、文化庁から8年間の長期採択を受け(2014～2021年度)、東日本大震災地域を含む北海道・東北地区の小中学校115校、のべ46,279名の児童・生徒、地域の皆様と交流を行い、さらに2019年度からは、これに加え、関東・東海・中国地区の小中学校61校のべ20,389名の児童・生徒に音楽をお届けしました。



小学校体育館でのオーケストラ本公演

令和3年度に実施された文化庁「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得なかった文化芸術鑑賞・体験教室等について、子供たちが質の高い文化芸術に触れる機会を創出し、冷え込んだ文化芸術への関心を取り戻すことを目的として行われました。

留学生の演奏会ご招待… 留学生招待シート

東京フィルでは国際交流事業の一環として、海外からの留学生や研修員の方々を定期演奏会へご招待する「留学生招待シート」を設けており、皆様からご寄附いただいたチケットも有効に活用させていただきます。詳しくは東京フィルチケットサービス(03-5353-9522)までお問合せください。



定期演奏会に来場のJICA東京研修生の皆様とチョン・ミョンフン(2019年7月東京オペラシティ定期)

©上野隆文

東京フィル 賛助会 会員募集中

2022年に東京フィルハーモニー交響楽団は創立111年を迎えました。

これまでの歩みは、東京フィルとその音楽を愛する皆様の日頃からの大きなご支援とご助力なしには実現しえないものでした。心より御礼申し上げます。

東京フィルは1月をシーズンのスタートに据え、年間を通じて皆様の暮らしに音楽をお届けしてまいります。国際的に活躍する音楽家や将来を嘱望される若い演奏家を招いての定期演奏会や「午後のコンサート」シリーズ、「第九」「ニューイヤーコンサート」などの特別演奏会や提携都市公演、学校や公共施設での音楽活動を通じ、東京フィルは社会に広くオーケストラの価値を認知いただけるよう活動を続けてまいります。この活動を通じて、日本の芸術文化の発展に寄与し、今後ますます多様化・複雑化するグローバル社会において不可欠な心の豊かさ・寛容さを育み、次世代へと続く文化交流の懸け橋となるよう、より一層努めてまいります。

ぜひとも皆様方からの継続的なご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

賛助会（法人／パートナー（個人））会員の種別

種別		年会費1口
オフィシャル・サプライヤー		詳細はお問い合わせください。
法人会員	賛助会員	50万円
	後援会員	30万円
パートナー会員	ワンハンドレッドクラブ	100万円
	フィルハーモニー	50万円
	シンフォニー	30万円
	コンチェルト	10万円
	ラプソディ	5万円
	インテルメッツォ	3万円
	プレリュード	1万円

※東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「主催者カウンター」または東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。資料をお送りいたします。ご入会後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部（担当：星野^{かのまた}・鹿又）

電話：03-5353-9521（平日10時～18時） Eメール：partner@tpo.or.jp

演奏会場の感染対策について

演奏会の開催にあたり、リハーサルから本番に至るまで、お客様、出演者、スタッフ等、すべての関係者の安全と健康を最優先に、日本国政府・東京都および関係団体から発表された新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドラインに従い、舞台上・舞台裏・楽屋・客席ロビーなどにおける対策を講じております。引き続きの感染症予防のご協力をお願い申し上げます。

写真＝三浦興一／上野隆文

客席・ロビーの対策について



入場前の手指消毒、常時マスク着用、間をあけて整列をお願いいたします



入場の際に、サーモグラフィカメラ等での検温を行っています



ホール入退場時の密集を避けるため、時間差による入退場のご協力をお願いいたします

ご来場者様の中から感染者が発生した場合には、保健所等の公的機関と連携の上、ご購入の際に取得した購入者情報を緊急連絡先として使用させていただく場合がございます。チケットご購入者をご来場者が異なり、購入者情報を緊急連絡先として望まない場合は、必ずチケット半券裏面の余白にご来場者様のお名前と緊急連絡先(電話番号など)のご記入をお願いいたします。



Face Masks
Required



Physical
Distancing



Sanitizing
Stations



Frequent Cleaning
and Disinfecting



Improved Indoor
Ventilation

会場では常時マスクの着用をお願いいたします。

ロビーや客席内での会話はお控えください。

ロビー等ではお客様同士の間隔を十分におとりください。

頻回の手指消毒をお願いいたします。

場内はスタッフが消毒・清拭を行っております。

客席内は十分な換気を行っております。

時差入退場にご協力ください。

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督
Honorary Music Director

チョン・ヨンフン
Myung-Whun Chung

首席指揮者
Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ
Andrea Battistoni

桂冠指揮者
Conductor Laureate

尾高 忠明
Tadaaki Otaka

大野 和土
Kazushi Ono

ダン・エッティンガー
Dan Ettinger

特別客演指揮者
Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ
Mikhail Pletnev

アソシエイト・コンダクター
Associate Conductor

チョン・ミン
Min Chung

永久名誉指揮者
Permanent Honorary Conductor

山田 一雄
Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者
Permanent Member and
Honorary Conductor

大賀 典雄
Norio Ohga

コンサートマスター
Concertmasters

近藤 薫
Kaoru Kondo

三浦 章宏
Akihiro Miura

依田 真宜
Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン
First Violins

小池 彩織☆
Saori Koike

榊原 菜若☆
Namo Sakakibara

坪井 夏美☆
Natsumi Tsuboi

平塚 佳子☆
Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之
Yoshiyuki Asami

浦田 絵里
Eri Urata

景澤 恵子
Keiko Kagesawa

加藤 光
Hikaru Kato

巖築 朋美
Tomomi Ganchiku

坂口 正明
Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久
Saku Suzuki

高田 あきの
Akino Takada

田中 秀子
Hideko Tanaka

栃本 三津子
Mitsuko Tochimoto

中澤 美紀
Miki Nakazawa

中丸 洋子
Hiroko Nakamaru

廣澤 育美
Ikumi Hirotsawa

弘田 聡子
Satoko Hirota

藤瀬 実沙子
Misako Fujise

松田 朋子
Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン
Second Violins

戸上 真里◎
Mari Togami

藤村 政芳◎
Masayoshi Fujimura

水島 路◎
Michi Mizutori

宮川 正雪◎
Masayuki Miyakawa

小島 愛子☆
Aiko Kojima

高瀬 真由子☆
Mayuko Takase

石原 千草
Chigusa Ishihara

出原 麻智子
Machiko Idehara

太田 慶
Kei Ota

葛西 理恵
Rie Kasai

佐藤 実江子
Mieko Sato

二宮 祐子
Yuko Ninomiya

本堂 祐香
Yuuka Hondo

山代 裕子
Yuko Yamashiro

吉田 智子
Tomoko Yoshida

吉永 安希子
Akiko Yoshinaga

若井 須和子
Suwako Wakai

渡邊 みな子
Minako Watanabe

ヴァイola
Violas

須田 祥子◎
Sachiko Suda

須藤 三千代◎
Michio Suto

高平 純◎
Jun Takahira

加藤 大輔◎
Daisuke Kato

伊藤 千絵
Chie Ito

岡保 文子
Ayako Okayasu

曾和 万里子
Mariko Sowa

高橋 映子
Eiko Takahashi

手塚 貴子
Takako Tezuka

中嶋 圭輔
Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子
Tazuko Hirumi

古野 敦子
Atsuko Furuno

村上 直子
Naoko Murakami

森田 正治
Masaharu Morita

チェロ Cellos	コントラバス Contrabasses	オーボエ Oboes	ホルン Horns	トロンボーン Trombones	ハープ Harps
金木 博幸◎ Hiroyuki Kanaki	片岡 夢児◎ Yumeji Kataoka	荒川 文吉◎ Bunkichi Arakawa	齋藤 雄介◎ Yusuke Saito	五箇 正明◎ Masaaki Goka	梶 彩乃 Ayano Kaji
服部 誠◎ Makoto Hattori	黒木 岩寿◎ Iwahisa Kuroki	加瀬 孝宏◎ Takahiro Kase	高橋 臣宜◎ Takanori Takahashi	中西 和泉◎ Izumi Nakanishi	田島 緑 Midori Tajima
渡邊 辰紀◎ Tatsuki Watanabe	小笠原 茅乃◎ Kayano Ogasawara	佐竹 正史◎ Masashi Satake	磯部 保彦 Yasuhiko Isobe	辻 姫子◎ Himeko Tsuji	
黒川 実咲☆ Misaki Kurokawa	遠藤 柊一郎 Shuichiro Endo	杉本 真木 Maki Sugimoto	大東 周 Shu Ohigashi	石川 浩 Hiroshi Ishikawa	ライブラリアン Librarians
高麗 正史☆ Masashi Korai	岡本 義輝 Yoshiteru Okamoto	若林 沙弥香 Sayaka Wakabayashi	木村 俊介 Shunsuke Kimura	岩倉 宗二郎 Sojiro Iwakura	武田 基樹 Motoki Takeda
広田 勇樹☆ Yuki Hirota	小栗 亮太 Ryota Oguri		田場 英子 Eiko Taba	小田 愛美 Manami Oda	
石川 剛 Go Ishikawa	熊谷 麻弥 Maya Kumagai	クラリネット Clarinets	塚田 聡 Satoshi Tsukada	平田 慎 Shin Hirata	ステージマネージャー Stage Managers
大内 麻央 Mao Ouchi	菅原 政彦 Masahiko Sugawara	チョ・スンホ◎ Sungcho Cho	豊田 万紀 Maki Toyoda	山内 正博 Masahiro Yamauchi	稲岡 宏司 Hiroshi Inaoka
太田 徹 Tetsu Ota	田邊 朋美 Tomomi Tanabe	アレッサンドロ・ ベヴェラリ◎ Alessandro Beverari	山内 研自 Kenji Yamanouchi		大田 淳志 Atsushi Ota
菊池 武英 Takehide Kikuchi	中村 元優 Motomasa Nakamura	万行 千秋◎ Chiaki Mangyo	山本 友宏 Tomohiro Yamamoto	チューバ Tubas	古谷 寛 Hiroshi Furuya
佐々木 良伸 Yoshinobu Sasaki		黒尾 文恵 Fumie Kuroo		大塚 哲也 Tetsuya Otsuka	
長谷川 陽子 Yoko Hasegawa	フルート Flutes	林 直樹 Naoki Hayashi	トランペット Trumpets	萩野 晋 Shin Ogino	
渡邊 文月 Fuzuki Watanabe	神田 勇哉◎ Yuya Kanda		川田 修一◎ Shuichi Kawata		
	斉藤 和志◎ Kazushi Saito	ファゴット Bassoons	野田 亮◎ Ryo Noda	ティンパニ& パーカッション Timpani & Percussion	
	吉岡 アカリ◎ Akari Yoshioka	チェ・ヨンジン◎ Young-Jin Choe	古田 俊博◎ Toshihiro Furuta	岡部 亮登◎ Ryoto Okabe	
	さかはし 矢波 Yanami Sakahashi	廣幡 敦子◎ Atsuko Hirohata	杉山 眞彦 Masahiko Sugiyama	塩田 拓郎◎ Takuro Shiota	
	下払 桐子 Kiriko Shimobara	井村 裕美 Hiromi Imura	前田 寛人 Hirohito Maeda	木村 達志 Tatsushi Kimura	
		桔川 由美 Yumi Kikkawa		鷹羽 香緒里 Kaori Takaba	
		森 純一 Junichi Mori		縄田 喜久子 Kikuko Nawata	
				船迫 優子 Yuko Funasako	
				古谷 はるみ Harumi Furuya	

◎首席奏者
Principal○副首席奏者
Assistant Principal☆フォアシュペラー
Vorspieler

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ 1年半の闘い～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。

1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2022, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrates its 111th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, TPO performs both symphonies and operas regularly. TPO is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting TPO since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

TPO has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

TPO has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>    



©上野隆文

役員等・事務局・団友

役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦	岩崎 守康	伊東 信一郎
	大賀 昭雄	山野 政彦	海老澤 敏
副理事長	大塚 雄二郎		佐治 信忠
黒柳 徹子	小山田 隆		鈴木 勲
専務理事	篠澤 恭助		鈴木 啓介
石丸 恭一	田沼 千秋		瀬谷 博道
	寺田 琢		日枝 久
常務理事	遠山 敦子		南 直哉
工藤 真実	野本 弘文		
	韓 昌祐		
	平井 康文		
	宮内 義彦		

事務局

楽団長	公演事業部	ステージマネージャー	ライブラリアン	広報渉外部	総務・経理
石丸 恭一	市川 悠一	稲岡 宏司	武田 基樹	伊藤 唯	川原 明夫
	岩崎 井織	大田 淳志		鹿又 紀乃	鈴木 美絵
事務局長	大久保 里香	古谷 寛		千木 加寿子	
工藤 真実	大谷 絵梨奈			二木 憲史	
	佐藤 若菜			星野 友子	
	村尾 真希子			松井 ひさえ	
				安田 ひとみ	

団友

安藤 栄作	大和田 皓	河野 啓子	清水 真佐子	長池 陽次郎	古野 淳
池田 敏美	岡部 純	近藤 勉	瀬尾 勝保	長岡 慎	細川 克己
糸井 正博	小樽 敦子	今野 芳雄	高岩 紀子	長倉 穰司	細洞 寛
今井 彰	小山 智子	齊藤 匠	高野 和彦	新田 清枝	本田 詩子
井料 和彦	甲斐沢 俊昭	坂口 和子	高村 千代子	新田 伸雄	松澤 久美子
岩崎 龍彦	加藤 明広	嵯峨 正雄	竹林 良	二宮 純	湊 貞男
植木 佳奈	加藤 博文	嵯峨 美穂子	竹林 陽子	野仲 啓之助	宮原 真弓
上野 眞行	金崎 真由美	桜木 弘子	田中 千枝	畑中 和子	山屋 房子
生方 正好	川人 洋二	笹 翠	田村 武雄	玻名城 昌子	吉田 啓義
大兼久 輝宴	木村 友博	佐々木 等	津田 好美	福村 忠雄	米倉 浩喜
大澤 昌生	黒川 正三	佐野 恭一	戸坂 恭毅	藤原 勲	脇屋 俊介

〈発行日〉2022(令和4)年4月28日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉東京フィルハーモニー交響楽団

〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズ・ホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン〉米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとまき

〈印刷〉歐文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra *無断転載を禁ず(非売品)



TOKYO PHILHARMONIC

Afternoon Concerts 2022season